

所属名	事務事業名	ページ番号
環境保全課	ボランティア清掃活動事業	2
環境保全課	公害防止対策事業	3
環境保全課	可燃ごみ等収集運搬事業	4
環境保全課	ごみステーションの適正管理事業	5
環境保全課	不法投棄防止対策事業	6

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ボランティア清掃活動事業	事業期間	平成 3 ~ 年度
担当部署・係名	環境保全課 環境パトロール係	担当課長名	大家 和彦
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	ボランティア清掃活動への取り組みを通じて、清潔で美しい生活環境の確保と、環境美化に対する意識の向上を図る。				
事業の対象者	ボランティア清掃を行う市民、自治会、事業所、各種団体等				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・県内一斉ふるさと美化活動（6月） ・市民一斉清掃月間（10月） ・アダプトプログラム（さわやかマイタウンSAGA）の実施（登録団体数 121） ・バイオプラスチックを使用したボランティア袋の作製（大）45,000枚、（小）18,000枚 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,368	754	903		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
清掃活動参加者						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
70,207	110,000 96,030	110,000 93,259	110,000	110,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	感染症拡大による活動自粛の影響がみられるが、今後も清掃活動へ多くの方や団体等からの参加が得られるよう努めていく。



成果目標達成に向けた対応策等
・ボランティア清掃活動への支援を継続して実施する。（ボランティア袋の配布、清掃用具の貸与、ごみの回収等）

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	公害防止対策事業	事業期間	昭和 43 ~ 年度
担当部署・係名	環境保全課 環境保全係	担当課長名	大家 和彦
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	21暮らしに身近な生活環境の向上	
	基本事業	公害（騒音・振動・悪臭等）の防止	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	各種環境調査や事業場等への立入検査・指導等を実施することにより公害発生を未然に防止し、市民の健康維持並びに快適な生活環境及び自然環境の向上を図る。				
事業の対象者	市内の自然環境、関係事業場等				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・環境調査（常時監視） 155地点 ・立入検査（事業所等） 54箇所 ・環境保全に関する広報活動等 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	22,587	23,071	24,185		
うち佐賀市の負担額	7,415	14,245	18,283		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
環境基準達成率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
88.9	95.0 88.5	95.0 82.7	95.0	95.0		

年度	目標 (%)	実績 (%)
R2	95.0	88.9
R3	95.0	88.5
R4	95.0	82.7
R5	95.0	
R6	95.0	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	環境基準の達成率は、前年度と比べ減少しているため、環境基準達成地点を増加させていく必要がある。



成果目標達成に向けた対応策等
<p>大気汚染や水質汚濁等、各種環境への影響がないかを常時監視するため、定期的に環境調査を実施する。 また、事業場等で環境に配慮した運営がなされているかを監視、指導するため、立入検査を実施する。</p>

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	可燃ごみ等収集運搬事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	環境保全課 クリーン業務係	担当課長名	大家 和彦
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市直営収集区域内のごみステーションに排出される可燃ごみ、資源物（ペットボトル、紙・布類）を適正に収集運搬することにより、生活環境の確保を図る。				
事業の対象者	佐賀市直営収集区域内のごみステーションに排出する居住者				
令和4年度 主な活動実績	【可燃ごみ】	収集頻度:週2回	収集方式:ステーション方式		
	【資源物】	収集頻度:月2回	収集方式:ステーション方式		
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	16,406	17,617	18,434		
うち佐賀市の負担額	11,001	11,957	12,289		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
適正収集率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	100 100	100 100	100	100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	適切な事務執行により成果目標を達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
・収集日程を遵守して、適正な収集運搬を実施する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ごみステーションの適正管理事業	事業期間	昭和 46 ~ 年度
担当部署・係名	環境保全課 環境パトロール係	担当課長名	大家 和彦
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	ごみステーションの適正な維持管理活動や、鳥獣によるごみ散乱防止対策を実施する自治会等に対し補助金を交付し、ごみステーションを清潔で適正な状態に保ち生活環境の向上を図る。				
事業の対象者	ごみステーションの管理を行う自治会等				
令和4年度主な活動実績	【ごみステーション維持管理活動補助】 663団体 【カラスネット購入費等補助】 補助件数：カラスネット43枚、BOX型40箇所、ネットBOX型36箇所				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	41,566	43,113	43,795		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
違反ごみ指導件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
56	53	50	47	44	164	114

成果指標②						単位
カラス被害件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
239	227	215	203	191	106	129

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	違反ごみについては、減少傾向にあり、今後も積極的な指導を継続していく。 カラス被害についても、今後も対策を継続していく。



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみステーションの巡回パトロール活動及びごみ出しルールの順守を促す活動を実施する。 ・ごみステーションに排出された違反ごみの調査及び排出者への指導を実施する。 ・ごみステーションに関する相談に対応する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

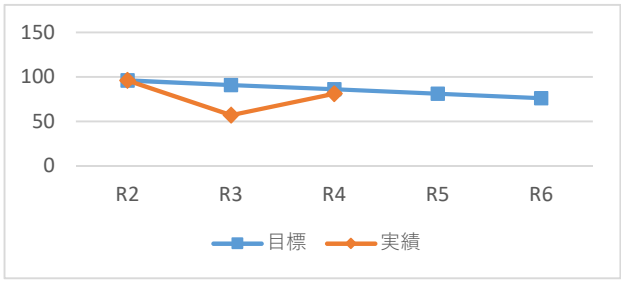
事務事業名	不法投棄防止対策事業	事業期間	平成 4 ~ 年度
担当部署・係名	環境保全課 環境パトロール係	担当課長名	大家 和彦
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

1 事務事業の基本情報

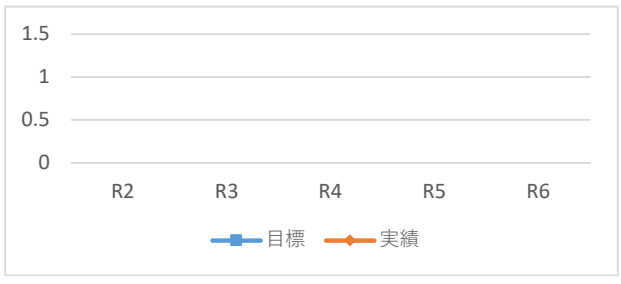
事業概要・目的	ごみの不法投棄に対し、職員によるパトロール活動や監視カメラ、警告看板の設置を行い、不法投棄を未然に防止する。また、早期発見、早期対応に努め、快適な生活環境及び自然環境の維持を図る。				
事業の対象者	ごみを不法に投棄する者				
令和4年度 主な活動実績	・パトロールによる巡視 2, 387箇所 ・監視カメラ（ダミー）の設置状況 28箇所 ・警告看板の設置状況 599箇所				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,109	6,673	7,050		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
不法投棄件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
96	91 57	86 81	81	76		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	適切な事務執行により成果目標を達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
・佐賀市不法投棄防止対策協議会を開催し、関係機関（自治会、警察署、土木事務所等）との情報共有、意見交換を実施する。 ・不法投棄を未然に防止するための活動を実施する。（パトロール、監視カメラ、警告看板等） ・不法投棄者の調査、指導を実施する。